令和6年度 児童養護施設 福島愛育園 事業報告

1. 基本方針の実施

年度当初、62名でスタートした在籍児童は、最も多くなる3月1日で60名、年度末児童 数は57名となり、前年度より5名減となった。

高校卒業等卒園対象児童4名中、3名は就職、1名は短期大学への進学も果たし、就職先、進学先での継続、安定を期待したい。年度当初、中学3年生が7名おり、進学先については学校と協議しながら進め、7名全員が志望校への入学が決まる。4月からは喜びと期待を胸に新たな学校生活をスタートした。

令和6年度の入所の児童数が6名、そのうち主訴が虐待のケースが3名、他施設からの措置変更が1名、保護者の拘禁が2名という状況である。虐待の社会問題化は継続されている状況にあるが、令和6年度の入所児童については、入所理由が多岐に渡る状態であった。家庭復帰した児童が、4名と前年度より1名増になっている。次年度以降へ持ち越しになったケースもある為、今後の家族交流に期待したい。また、園からの自立援助ホームへの措置変更となった児童もおり、高年齢児への支援の在り方を考える機会となる。職員の対応の幅を拡げる事が重要であり、研修会への参加や園内での研修を重視し、個々のスキルアップに努めている。

児童養護施設の多機能化・高機能化は、国や県から求められている所ではあるが、施設養育の充実をどのように繋いでいけるかに焦点を当てている。里親家庭との懇談や里子さんのケア、子育てに悩むご家庭の子どもさんのケアに取り組み、養育の力を地域に還元しながら、進めている所である。

こどもの権利擁護の観点より、意見表明等支援員の方々3名が、月に1度来園し(約2時間)、希望児童の意見を聞いて頂く機会も設けられるようになった。

入所児童の状況

初日在籍児童数

月	4	5	6	7	8	9	1 0	1 1	1 2	1	2	3	平
性別	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	均
男	34	34	34	35	35	33	33	33	33	33	33	33	34
女	28	27	27	27	26	25	25	27	27	27	27	27	27
計	62	61	61	62	61	58	58	60	60	60	60	60	61

学年別(令和7年3月1日現在)

1 1									-				<u>_</u>					7	
〉 学	未	小							中				高					そ	
年	就	学							学				校			定		\mathcal{O}	合
	学	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3	4	計	他	計
性																			
別																			
男	0	2	1	2	4	1	5	15	4	5	3	12	0	2	4	0	6	0	33
女	0	1	2	4	2	0	0	9	3	3	4	10	4	2	2	0	8	0	27
計	0	3	3	6	6	1	5	24	7	8	7	22	4	4	6	0	14	0	60

入所・退所児童の状況

(令和7年3月31日現在)

	前年度繰越	本年度入所	本年度退 所	年度末人員	家庭引取	就職	その他
男	3 4	2	4	3 2	0	3	1
女	2 8	4	7	2 5	4	1	2
計	6 2	6	1 1	5 7	4	4	3